

プール性結膜炎

結膜というのは、上下の瞼の裏側と目の白い部分の薄い粘膜をいいますが、ここにバイ菌が入りますと、目が赤くなる、目やにが出る、ゴロゴロする、目がかすむ、目がはれる等の症状が現われます。

バイ菌も一種類ではなく、いろいろな、バイ菌が入るので、そのバイ菌の種類によってすぐ治るものや、3週間もかかるものもあり、場合によっては熱を出すこともあります。

プール性結膜炎とは、昔プールで集団発生した結膜炎にたいして名付けられました。原因は様々で、細菌、ウイルスの感染や消毒に使用されている薬品の刺激による結膜炎も含まれています。

中でもウイルスによるものが最も多く、いわゆるはやり目といわれるもので、伝染性も非常に強いので感染予防が大切です。

プールでの注意としては

目が充血し、目やにの出る日は泳がないこと。

プールで感染するウイルス性結膜炎は、少なくとも5日間ぐらいの潜伏期間があり、泳いだ後に目が赤くなくても翌日にはよくなっている場合は泳いでもよい。

プールの消毒に使用する薬品から目を保護するために、長時間の水泳には水中メガネを使用して下さい。

また水から上がったらずくに水道水で洗っておくこと、家庭内での注意としては、手を流水や石けんでよく洗うこと。

休養をとって体力をおとさない様に。

学校、幼稚園は医師の許可があるまで休む。

医師の許可があるまでプールに入らない。

患者さんのタオル、洗面用具などは、家族のものと別にする。

以上の事に注意して、今年の夏休みもプールを楽しみ、充分体を鍛えて下さい。

平成9年7月

坂下 勝